

第1回 導入——今、コソヴォで、チベットで

- ・2008年2月18日安保理審議に関する新聞記事
- ・安保理議事録 S/PV.5839

第2回 フィヒテ対ルナン——「人民」は戦争の灰から生まれた

- ・ルナン「国民とは何か」ルナンほか『国民とは何か』（インスクリプト、1997年）
- ・フィヒテ「ドイツ国民に告ぐ」同上書所収

第3回 レーニン対ウィルソン——20世紀を決めた2人

- ・レーニン「民族自決権について」『レーニン全集』20巻
- ・レーニン「社会主義革命と民族自決権」『レーニン全集』22巻
- ・Wilson, Address to Congress, January 8, 1918
- ・Wilson, Address to Congress, February 11, 1918

第4回 カール・シュミット——あなたは私の敵か味方か

- ・シュミット「政治的なものの概念」長尾龍一編『カール・シュミット著作集 I 1922-1934』（慈学社、2007年）〔菅野喜八郎訳〕

第5回 ベネディクト・アンダーソン——すべては私たちの記憶の中に

- ・アンダーソン『定本 想像の共同体』（書籍工房葉山、2007年）
VI「公定ナショナリズムと帝国主義」
VII「最後の波」

第6回 ウォーラーステインとバリバール——資本主義の中の人民

- ・ウォーラーステイン「民族性の構築」バリバール／ウォーラーステイン『人種・国民・階級（新装版）』
- ・バリバール「国民形態」同上書

第7回 人民の自決権——「自分」が「決める」ということの意味

- ・国連総会決議 1514 (XV)
- ・OAU 憲章 3条
- ・OAU 元首首長会議決議 16(I)
- ・Charles R. Nixon, “Self-Determination: The Nigeria/Biafra Case”, *World Politics*, vol. 24, pp. 473-